

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	3cm 以上単発肝細胞癌に対する重粒子線治療と肝動脈化学塞栓療法の比較検討
	研究対象者	肝細胞癌と診断された患者さんのうち、2016 年 1 月～2021 年 12 月に当院で重粒子線治療または肝動脈化学塞栓療法を受けられた方
	研究目的	単発肝細胞癌に対する標準治療は外科的切除、ラジオ波凝固療法が第一選択ですが、腫瘍の部位や肝機能、患者さんの合併症等の理由により、適応とならないことがあります。特に、3cm 以上の肝細胞癌に対してはラジオ波凝固療法の効果が乏しいことから、外科的切除困難な場合には、治療選択肢が限られます。代替治療として肝動脈化学塞栓療法が治療選択肢となりますが、治療効果は十分ではありません。重粒子線治療も同様に代替治療として位置付けられており、優れた線量分布と高い生物学的効果を有しており、本邦では 2022 年 4 月に 4cm 以上の肝細胞癌を対象に保険適応となりました。重粒子線治療は毒性が低いことが特徴であり、複数の合併症を抱えた高齢者に対しても安全に治療可能であることがわかっています。これまでに 3cm 以上単発肝細胞癌に対する重粒子線治療と肝動脈化学塞栓療法の比較は報告されておらず、本研究を立案しました。
	研究方法	診療情報を後方視的に解析します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西暦 2023 年 7 月 10 日～西暦 2026 年 12 月 31 日
利用する試 料・情報の項 目(チェック[X] が入った項目を 利用します)	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]性別、 [X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、 []放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[]看護記録 []その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センター 研究責任者	消化器内科 福島泰斗
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・消化器内科・福島泰斗 電話番号：045-520-2222	